

2013年 1月 5日
No 1340号
働くルールの確立で
人間性の回復を

明治乳業争議団 ニュース

発行先 明治乳業争議団
〒272-0015
千葉県市川市鬼高2-6-2
☎・Fax 047-332-5698
E-mail mjnyu88sgd@wing.ocn.ne.jp
HP 明治乳業争議団 ⇒ 検索

2013年は、争議「勝利解決」の年 都労委から「勝利命令」を手にし 長年の闘いに幕を下ろす決意！



全労連・東京地評争議支援総行動
明治ホールディングス社前に、207名の怒りの声
長期争議解決の決断を迫る(2012.11.27)

**全面解決に向け
揺るぎない決意で迎えた新年！**
昨年、明治HD及び(株)明治の異常企業
体質を告発し包囲する運動と、都労委「全国事
件」への救済命令を確実にする闘いを軸に、全
面解決への道筋を切り拓いてきました。
いよいよ、長期闘争を勝利解決に結実させる
新年です。全国64名(11人故人)の争議団は、
「このままでは人生終えられない」の決意で団結
し、今春の都労委命令を契機に、全面解決に向
け一気にならぬ運動を展開する決意です。
決着の年！重ねてご支援をお願いし、年頭の
ご挨拶と致します。

明治乳業争議団
団長 小関守



明けましておめでとーうございます
明治乳業争議の本質は、他の大企業同様、た
たかう労働組合潰しの不当労働行為事件です。
まともな労働組合を潰した結果、日本は1%
(富裕層)と99%の格差社会になり、デフレ不況
に陥りました。明治HDは、他の大企業の争議
解決に学ばず、争議を解決しないため株価低迷、
業績低迷で「危機的状況」をむかえています。
この争議を全面解決することは、デフレ不況
からの脱却、労使双方の利益、争議団の名誉回
復、新しい時代の幕開けにつながります。私た
ちは、都労委命令を勝ちとり、全面解決するた
め全力でがんばります。本年は正念場です。ご
支援よろしくお願ひします。
明治乳業争議支援共闘会議 議長 松本悟

私は「その日」を待っている

明乳争議と私



松本 圓さん

その男を私は知らない。だが、その寂しい言葉が私の記憶に残った。
そしてその男が、私に「都内集会」の演出を依頼してきたのである。その時から、小関さん、明乳争議団員との交流が始まった。
1999年10月、「千葉の明乳争議団」は「都内デビュー」を果たした。その時、50代の彼らは青春を踊った。
「無くしたくない、この燃え上がる熱いもの……」。ゼーゼー、息を切らせながら、彼らは踊った！
それから13年。明乳争議団は、今も首都圏の争議団の中心的役割を担い続けている。彼らこそ「人民の子」なのである。人民の闘う歴史を紡いでいるのである。
私には、密かな願ひがある。それは「明乳争議勝利集会」の演出を依頼されることである。
私は「その日」を待っている！

「俺たちも、いつか、こんな集会、やりたいな……」
日立関連争議が、大詰めを迎えた都内での集会後の交流会で、私の前に座っていた男がボソッと呟いた。
日立関連争議が、大詰めを迎えた都内での集会後の交流会で、私の前に座っていた男がボソッと呟いた。

◆JR津田沼駅宣伝
日時 2013年1月30日(水)
午後5時～6時
明治乳業争議支援
千葉県共闘会議
◆「新春交流会」
日時 2013年1月30日(水)
午後6時30分～
会場 市川教育会館
会費 1,000円



◇明治乳業争議
支援共闘会議
「総会」
日時 2013年2月2日(土)
午後2時～
会場 東京労働会館
(地評5階会議室)
◇新春「旗びらき」
日時 2013年2月2日(土)
午後6時～
会場 東京労働会館
(ラパスホール)
会費 3,000円

ちょっといい話

昨年の6月29日、「北陸新聞」東海・北陸信越のページにこんな記事が載った。
昨年(2011年)8月末で閉所した学童保育の大桑児童クラブ「風の子くらぶ」=石川県金沢市=の元運営委員らが27日、クラブの資金の一部を東日本大震災の義捐金として被災地に送り



ました。「風の子くらぶ」元運営委員長の中村利博さん(争議団員)は贈呈式で「昨年10月に金沢で開かれた学童保育の全国集会で被災地の人たちとも交流し、何かしたいと思っていた」と義援金の贈呈を決めたきっかけを紹介。「被災地の子供たちの苦労は計り知れない。少しでも力になれば」と期待を込めました。「風の子くらぶ」は1980年に父母らによって建設されるも、自治体からの支援の不十分があり閉所。建物の修繕や建設費に保護者から寄せられた建設資金の一部95万円をあてたという。



■昨年の10月には明乳争議支援共闘会議・争議団も被災地の支援を行い、被災者からのお話を伺いましたが、とかく「権力」が人災とも言えるこの災害を、遠くえ追いやろうとするいま、私たちは決して「3.11」を忘れまいと思う。

団員の横顔

市川工場申立人
山崎文明



山崎文明
飲み会の席でも、アルコールなしで話に加わり共に楽しむ。

彼は昭和37年3月、市川工場に入社。同期入社は全国から集められた高卒者を合計100名を超える。
学校の教育としてスキーの授業がある新潟県生まれ、腕前は1級品で、冬ともなれば雪の少ない出身県の仲間たちを連れてスキー場へ。彼にスキーを教えるもつた争議団員も決して少なくない。
また、夏には「海グループ」をつくり、毎年、家族を伴い素潜りで魚や貝を取りバーベキューなど自然の中で、仲間との絆を作ってきた。
数年前には、食道癌を発症し、声が出なくなると心配していたが、全摘手術にも耐えぬこと復活。今では持ち前の美声でカラオケを熱唱している。
昔から口数の少ない無口な「山ちゃん」だが、発言内容は鋭く、「団会議」でも彼の発言に「ヤジや冷やか」を聞いたことがない。
また、やることは黙ってコツコツとこなす性格で、「頼まれたら嫌とは言わない」、男は黙って勝負するタイプだ。

